

本紙を必ず施主様にお渡し下さい

Only One
LED シリーズ

取扱説明書

※本書は商品の取り扱いについて説明したものです。
紛失されないよう、大切に保管してください。

Ver. 2

Z02

⚠安全のため必ず守ってください

- 灯具の取替交換は主電源を切ってください。
 - 感電のおそれがあります。必ず下記工事店等にご依頼ください。
- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換してください。
 - 使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯です。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合・などは寿命が短くなります。
 - 点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
 - 3年に1回は工事店等の専門会社による点検をお勧めします。
- 火気を近づけないでください。
 - 火災、延焼または故障の原因となります。
- 強い衝撃をあたえないでください。
 - 故障の原因となります。
- ホースによる直接の散水は禁止です。
 - 各機能に障害が生じるおそれがあります。
- むやみに改造・変更はしないでください。破損・感電・火災の原因となります。

お手入れ方法

- 商品のアルミ部の汚れは中性洗剤を使用してください。シンナー等の石油系溶剤は、絶対に使用しないでください。（塗装のはげ、キズ、変色、変形等の原因となります）
- 長期間、お掃除しないままにしておきますと、表面に付着したほこりや塵、鉄粉などの汚れが皮膜の再生を妨害し、錆の発生、腐食の原因となりますので、すばやく取り除くことが必要となります。
- 汚れは柔らかい布や、スポンジなどで拭き取ってください。金属タワシや研磨剤入り洗剤でこすると表面が傷つき、錆の発生、腐食の原因となります。
- 末永くご使用いただくために、定期的にワックスがけをお勧めします。

修理サービスについて

- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので予めご了承ください。
- 印刷物と実物では多少色味が異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- 商品に異常が生じた時はお取り付けの施工店にご相談ください。
- 修理を依頼される時、下記内容についてお知らせください。
商品名、故障の状況、ロットNo.、施工日、ご氏名、ご住所、電話番号、道順。

保証

- 商品の保証期間はご購入の日より1年間です。
- 保証期間内でも次の場合には有料を原則とさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - 取付後の取付場所の移設・輸送・落下などによる故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、異常電圧、指定外の電源・（電圧・周波数）などによる故障及び損傷
 - 施工上の不備に起因する故障や不具合

購入年月日

購入先

Only One

Simple-frame

施工要領書

※この施工要領書をよくお読みの上、施工を行ってください。

ファンクション
ユニット

●対象製品 NA5-FFUI○I□□, NA5-FFUI○N□□, NA5-FFU-S0□□, NA5-FFU-A□□

Ver. 1

F18

この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

⚠ 施工上のご注意

- 商品に傷をつけないようご注意ください。
(傷は錆びの原因となりますのでタッチアップ塗料等で必ず補修を行ってください。)
- 傷などの補修方法はお問い合わせください。
- 取付場所が通行のさまたげにならないか、十分に確認してください。
- 本体に、ホース等で直接水をかけないでください。
- 商品の施工に関しては必ず「施工要領書」に従ってください。
- むやみに改造・変更をしないでください。
- 主電源を切ってから施工を行ってください。
- 100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種(第3種)接地工事を必ず実施してください。(電気工事店にご依頼ください。)

- ねじなどのゆるみがあるかどうか確認し、ゆるんでいる場合はしめてください。
- 商品の塗装表面には、直接養生テープを貼り付けしないでください。
塗装剥がれの原因となります。
- 商品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。
シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。



⚠ ご注意



ほたるスイッチと組み合わせて使用しない

LED 照明(100V)にほたるスイッチを接続する場合、ほたる点灯時に流れる微小電流により、LED 照明(100V)がぼんやり点灯、点滅する恐れがあります。ほたるスイッチと組み合わせて使用しないでください。

No.		インターホン付	インターホン無
1	本体 	1セット	—
1	本体 	—	1セット
2	LED目板 	1個	1個
3	目板 	1個	1個
4	連結金具 	1個	1個
5	トラス小ねじ (M4×5) 	2個	2個
6	PCプラグ (6×32) 	2個	2個
7	なべタッピン (4×35) 	2個	2個
8	低頭六角穴付ボルト (M4×6) 	3個	3個

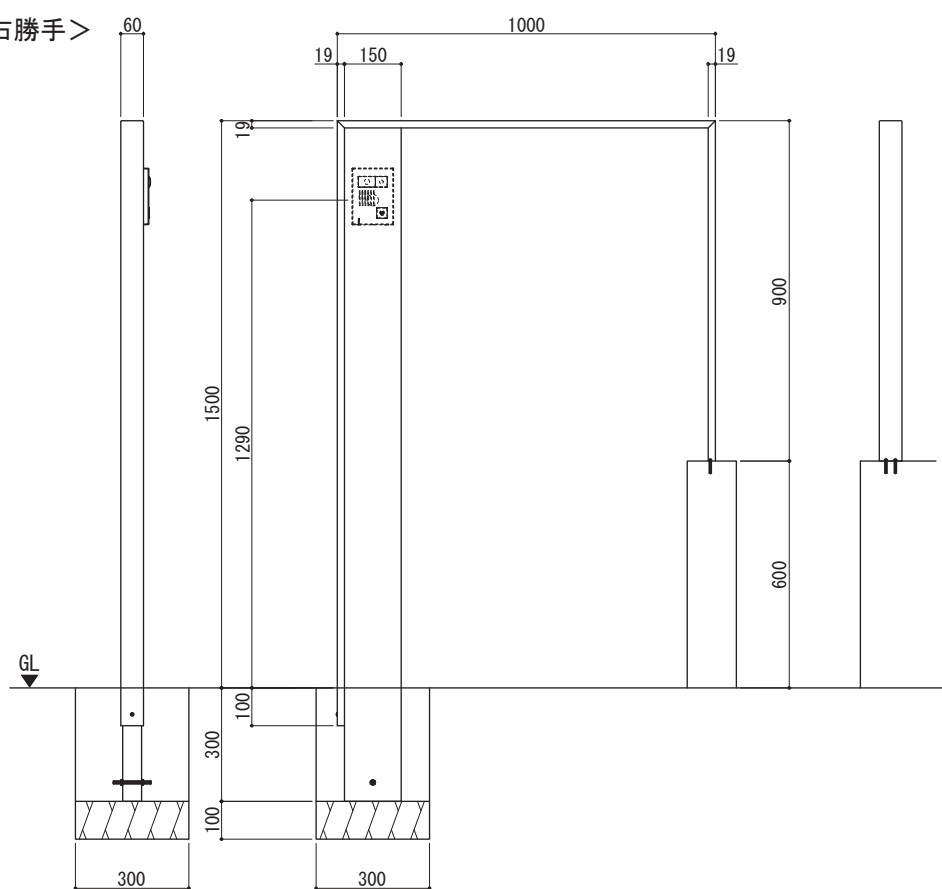
No.		インターホン付	インターホン無
9	トラス小ねじ (M4×15) 	2個	—
10	六角レンチ (呼び2) 	1本	1本
11	アンカー棒 (M8×100) 	1本	1本
12	六角ナット (M8) 	2個	2個

●オプション

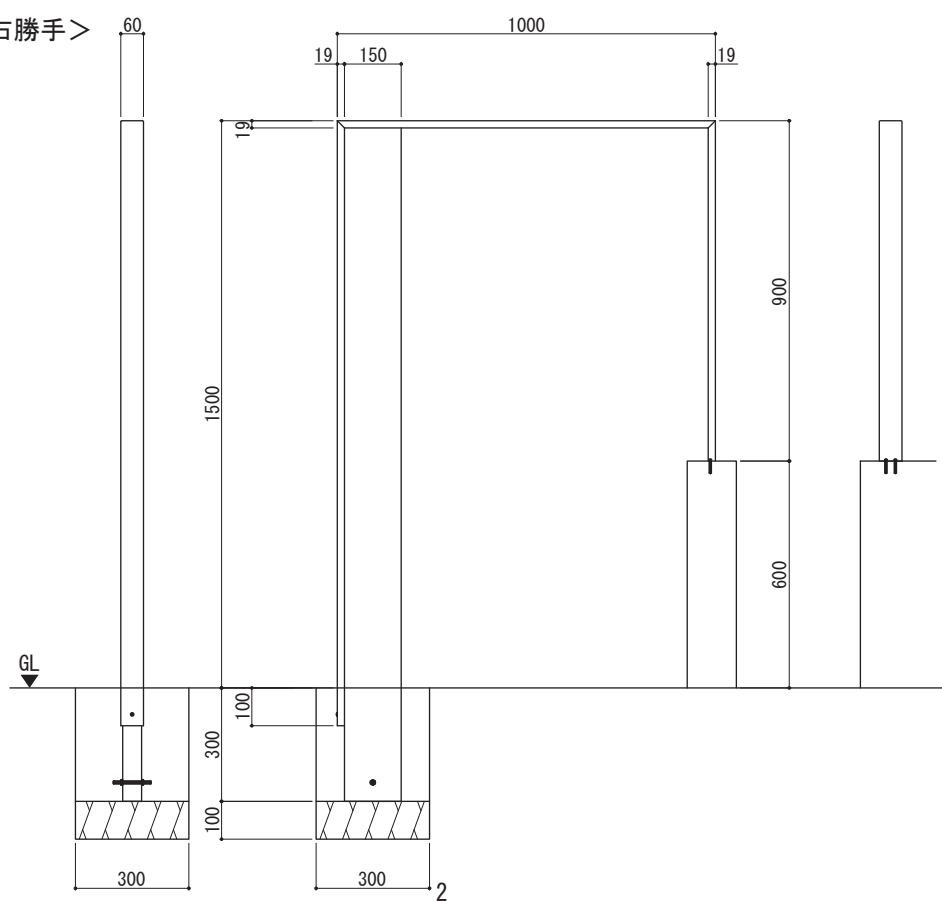
No.		装飾フレーム	ネームプレートフレーム
1	装飾フレーム 	1セット	—
2	ネームプレートフレーム 	—	1セット
3	六角穴付皿ボルト (M4×10) 	8個	8個
4	六角レンチ (呼び2.5) 	1本	1本

■本体寸法図

インターホン付 <右勝手>

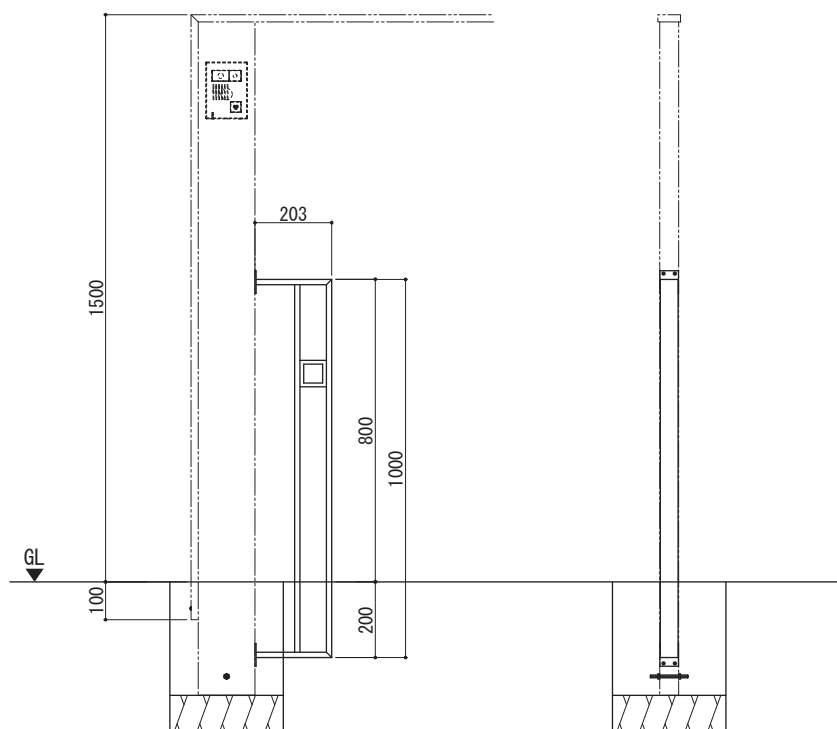


インターホン無 <右勝手>

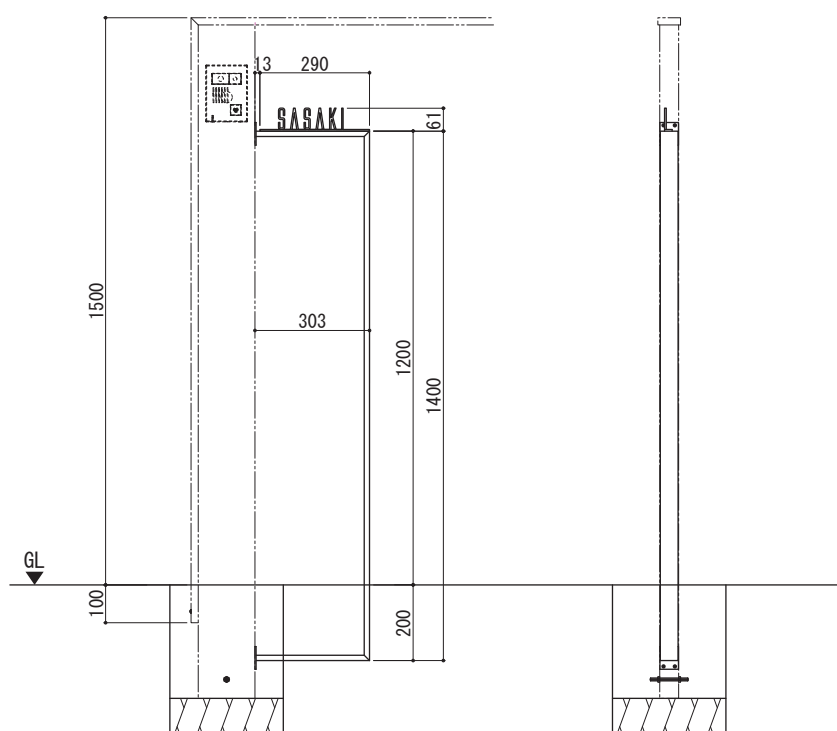


オプション

装飾フレーム <右勝手>



ネームプレートフレーム <右勝手>

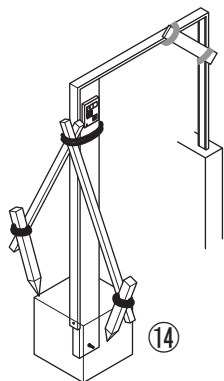


■本体の取付

インターホン付の場合

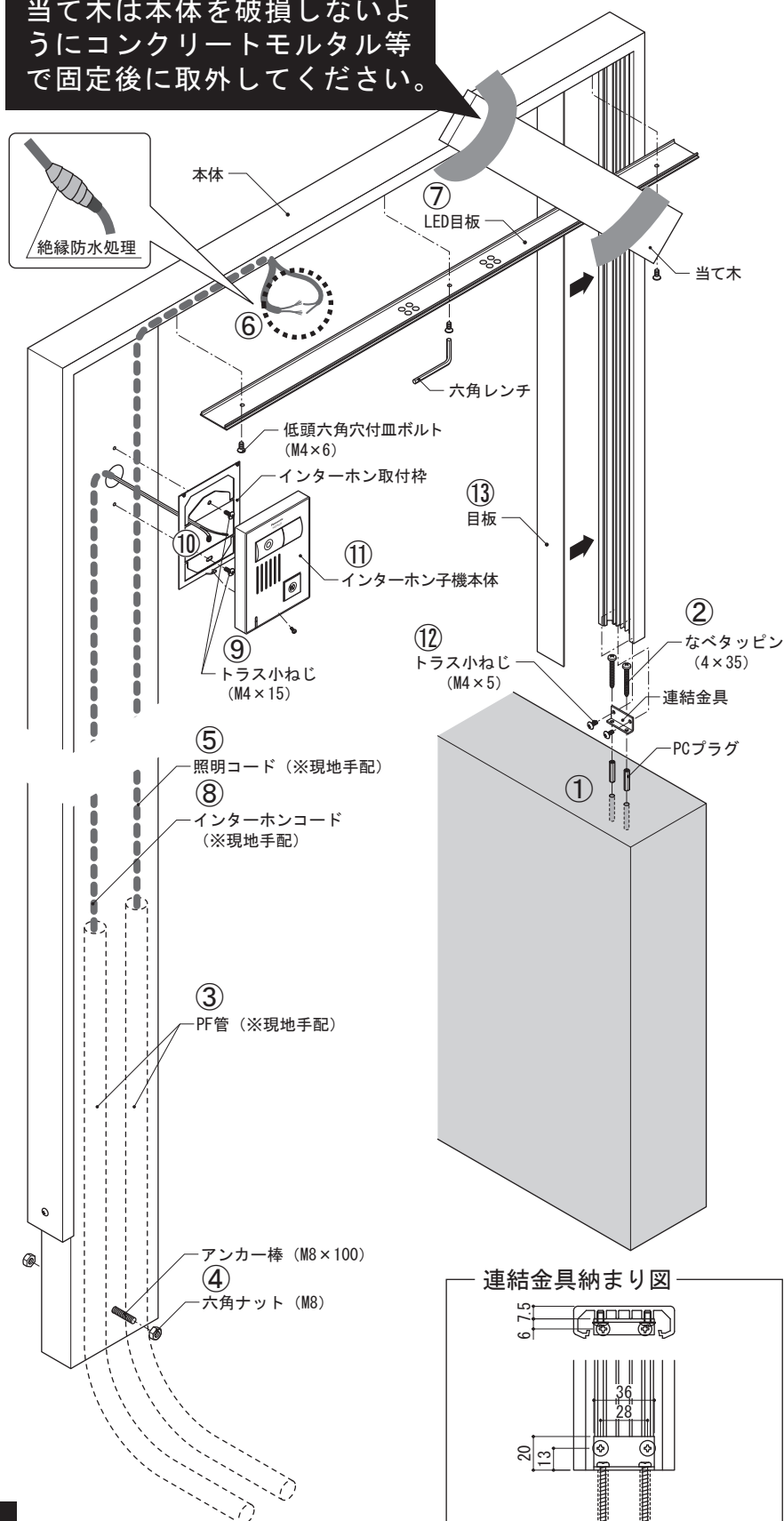
- ①取付け部2ヶ所の指定位置でコンクリートブロックに振動ドリルで穴（ $\phi 6 \times$ 深さ35）をあけ、PCプラグを差し込みハンマーで打ち込みます。
- ②連結金具をなべタッピン（ 4×35 ）で取付けてください。
- ③PF管（※現地手配）を2本挿入してください。
- ④アンカー棒（ $M8 \times 100$ ）を本体に挿入し、六角ナット（ $M8$ ）で固定してください。
- ⑤照明用PF管から照明コード（※現地手配）を通してください。
- ⑥LED配線コードと照明コードを結線し絶縁防水処理（※現地手配）してください。
- ⑦LED目板を六角レンチを使用して、低頭六角穴付皿ボルト（ $M4 \times 6$ ）で本体に取付けてください。
- ⑧インターホン用PF管からインターホンコード（※現地手配）を通してください。
- ⑨インターホン取付枠（※現地手配）をトラス小ねじ（ $M4 \times 15$ ）で本体に取付けてください。
- ⑩インターホンコード（※現地手配）をインターホン子機に結線してください。
- ⑪インターホン子機本体をインターホン取付枠に取付けてください。
- ⑫本体をトラス小ねじ（ $M4 \times 5$ ）で連結金具に取付けてください。
壁に取付ける柱の高さが合わない場合は、切り詰めを行い調整してください。
- ⑬目板を本体に嵌め込んでください。
- ⑭本体をコンクリートモルタルで固定します。

本体を支え棒で自立させ垂直・水平を確認してからコンクリートを打ってください。



⚠️ ご注意

当て木は本体を破損しないようにコンクリートモルタル等で固定後に取外してください。



⚠️ ご注意

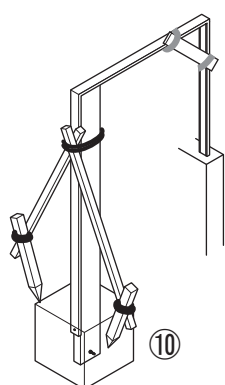
●電気配線は電気工事店にご依頼ください。

⚠️ ご注意

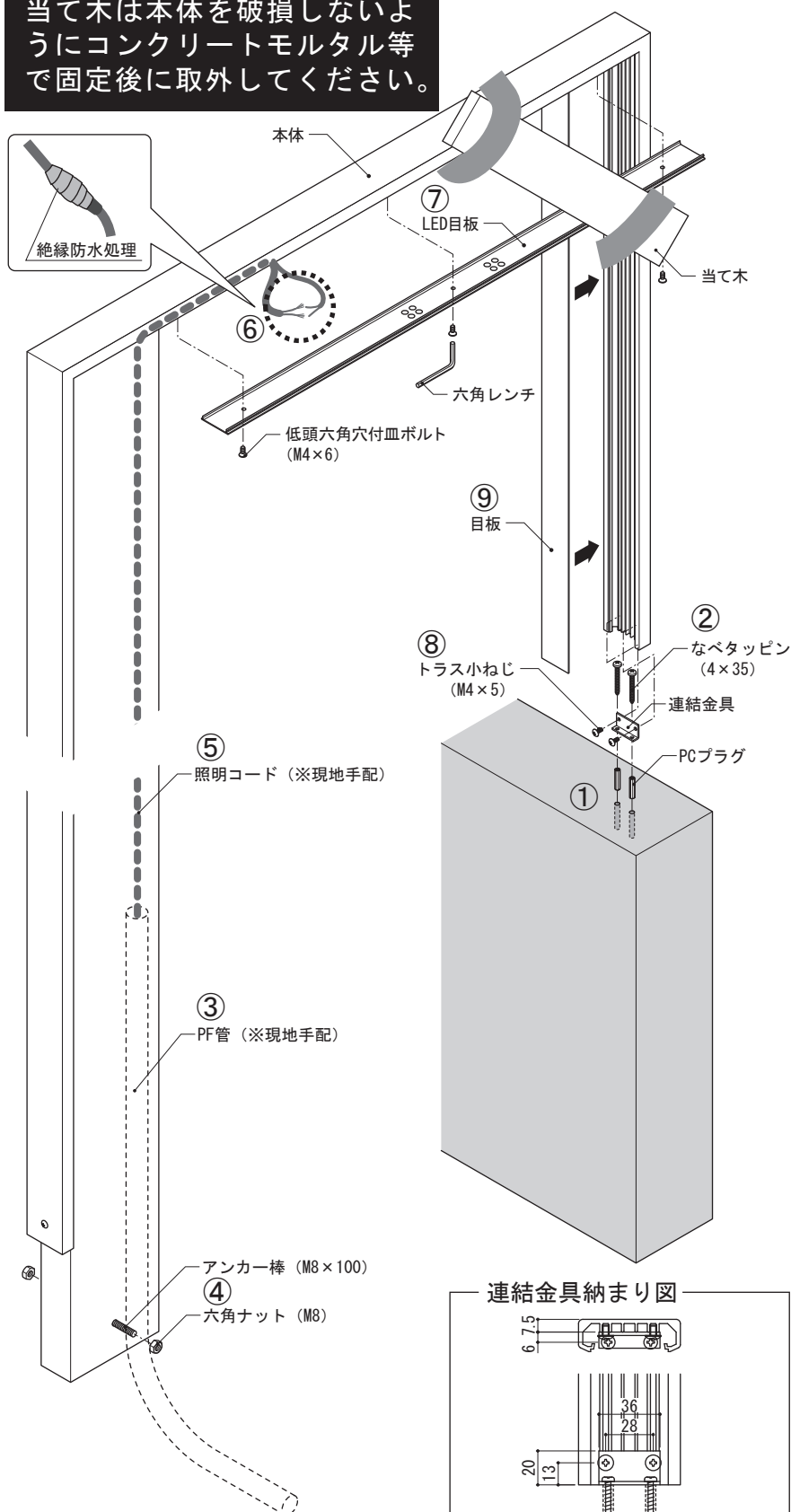
インターホン無の場合

- ① 取付け部2ヶ所の指定位置でコンクリートブロックに振動ドリルで穴（ $\phi 6 \times$ 深さ35）をあけ、PCプラグを差し込みハンマーで打ち込みます。
- ② 連結金具をなべタッピン（ 4×35 ）で取付けてください。
- ③ PF管（※現地手配）を挿入してください。
- ④ アンカー棒（ $M8 \times 100$ ）を本体に挿入し、六角ナット（ $M8$ ）で固定してください。
- ⑤ PF管から照明コード（※現地手配）を通してください。
- ⑥ LED配線コードと照明コードを結線し絶縁防水処理（※現地手配）してください。
- ⑦ LED目板を六角レンチを使用して、低頭六角穴付皿ボルト（ $M4 \times 6$ ）で本体に取付けてください。
- ⑧ 本体をトラス小ねじ（ $M4 \times 5$ ）で連結金具に取付けてください。
壁に取付ける柱の高さが合わない場合は、切り詰めを行い調整してください。
- ⑨ 目板を本体に嵌め込んでください。
- ⑩ 本体をコンクリートモルタルで固定します。

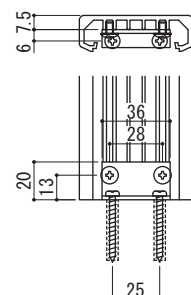
本体を支え棒で自立させ垂直・水平を確認してからコンクリートを打ってください。



当て木は本体を破損しないようにコンクリートモルタル等で固定後に取外してください。



連結金具納まり図



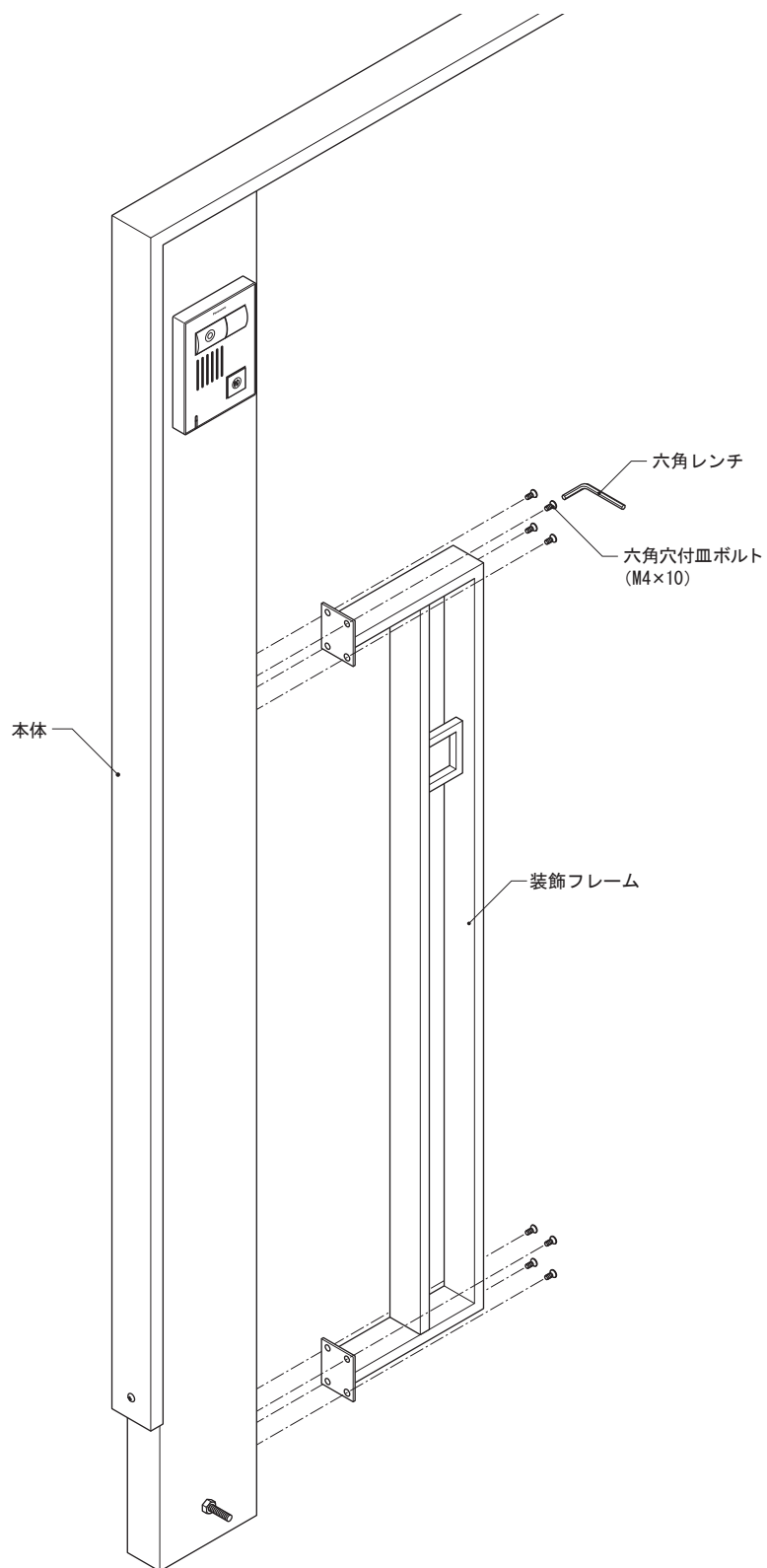
⚠️ ご注意

- 電気配線は電気工事店にご依頼ください。

■オプションの取付

装飾フレーム

- ①コンクリートを打つ前に装飾フレームを六角レンチを使用して、六角穴付皿ボルト（M4×10）で本体に取付けてください。



ネームプレートフレーム

- ①コンクリートを打つ前にネームプレートフレームを六角レンチを使用して、六角穴付皿ボルト（M4×10）で本体に取付けてください。

